

1. 事業名: 大清川 妥当性 調査事業.

2. 事業施行機関: 建設部

3. 事業期間: 1972年^{から} 1974年^{まで} (建設は1975年より開始)

4. 事業内容:

本事業は 大川流域 総合開発計画に 伴って 錦江の 大川 多目的 建設事業の 妥当性を 調査し、 同多目的 建設事業の 規模^{及び} 時期を 経済的 技術的 観点より 確定^{することにより} 投資の 効率化を 期^すこと 目的と する事業^{である}。

本多目的 建設^(1974~1976)は 錦江水系が 保有^{している} 水資源を 高度に 開発^{することにより} 本川 下流沿岸の 洪水被害 節減を 図^ること、 大田、清州、一丹の 都市^の 工業用水 供給を、 錦江下流 全天候農地 開発事業^{のため} 必要^な 灌溉用水を 供給^{することにより}、 施設容量 96,000 KWの 発電設備を 年間 151百万 KWH の 電力を 生産^{することにより}、 下川の 常時 流出量を 増加^{させることにより} 錦江 下流^(瑞川、益山、沃溝等地)の 塩害を 除去^{することにより} 多目的 水資源 開発事業^{である}。

5. 事業金額: ₩ 500,000 (用役費) (建設費約 800万ドル)

韓 Seum Jin

洛津江 流域 調查

1. 事業名: 洛津江 流域 調查事業

2. 事業施行機關: 建設部

3. 事業期間: 1972年 ~ 1975年

4. 事業金額: 日 200,000 (別内資: 120百万円)

}	技術用費: 143千円
	機資材購入: 47千円
	海外技術訓練: 10千円

5. 事業内容:

洛津江 流域^と 隣近流域^と 一規^を 観^る 計^画
 (高興, 伐橋, 震水, 順川地区)

水資源^と 土地資源^と 綜合開發計^画 到^り
 調査^を 実施^す 計^画

水^が 不足^が 極^に 甚^し 隣近流域^と 水資源^の 均衡調和^と 旱害常習地区^の

鮮消等 基本計^画 樹立^を 計^画 する こと^を 目的^と として

癌 診 療 事 業

1. 事業名: 胃癌⁰ 早期^及 診斷^以 癌^科 科^科 啓蒙^事 事業

2. 事業施行機關: 原子力^及 放射線^科 醫學^研 究^所 各^各 醫科^大 學^附 屬^病 院

3. 所要資金

外資	8200.000 (金額 機資材 購入費)
内資	12.300 千円 千円
	機診車 4台分. @ 350.000

4. 事業概要

日本^に 胃癌^は 因^る 年間 死亡者^は 約 50.000 名^と 推定^{され} 推定^{され} 胃癌^は 第^二 位^を 占^め 居^る こと^が 推算^{され} 居^る

家庭的[・] 社會的^に 最も^に 活動^期 に入^る 40代^代 以前^に 発生^率 が^最 高^に 達^す 且^ち 人口^の 減少^を 超^え 乘^り 加^え 居^る

癌^の 科^科 適切^な 対策^を 採^る こと^が 緊要^な 実情^に 依^る

口^口 然^ら 癌^の 根本^的 原因^は 完全^な 治療^方 法^が 未^だ 確^立 され^な 現^時 未^だ 確^立 され^な 癌^に 対^し て^は 最^も 重要^な 方法^は

方法^は 早期^に 発見^と 早期^に 治療^を 以^て 以^て 科^科 啓蒙^を 集團[×] 線^線 複^複 診^診 車^車 輛^輛 等^等 各^各 地^地 方^方 へ 移^移 動^巡 回^を

以^て 複^複 診^診 車^車 輛^輛 等^等 以^て 民^民 衆^衆 へ 癌^に 対^し て^は 啓蒙^を 行^行 う^事 業^を 行^行 う^事 業^を

病虫害防除研究施設

1. 事業名: 病虫害防除研究施設
2. 事業施行機關: 原子力放射線農學研究所
3. 所要資金

外資 836,000 (機資材 買入費)
 内資 2,000千円

4. 事業概要

国民經濟の向上に對して農産物の増産に總力を集中するに當り、農作物の改良、農作物の肥配管理及び各種病害の併行して病虫害の合理的な防除策を樹立するに努める。

増産の寄與を主たる事業とする。

米穀を中心とする連綿經濟作物を對象として、稻熱病をはじめ諸般病害の「イカリ病」等

主要害虫の防除の主眼を置く。この際、農薬の効率的な使用方法の調査、調製等

開発に努め、所要の研究機材等を導入する。

防災気象施設

1. 事業名： 防災気象施設

2. 事業施行機関： 中央気象臺

3. 所要資金

外貨 8,600,000 (機材費用入算)
 内貨 15,000千円

4. 建設期間

1972 ~ 1973

5. 事業概要

1. 本事業は農業業務を強化し、農業気象災害を未然に防止し、
 乃至は軽減するに資する設備を整備し、通所通作を
 通所通作を円滑にし、農業生産性を増大し、等興する
 ことに資する。
2. 本事業は予報の命中率向上と、
 未然に防止し、
 産業経済発展に資する。
3. 以上が本事業の目的であり、
 農業気象観測装置を導入する。

高速化 鉄道建設

- 1. 事業名: 高速化 鉄道建設 ^の 技術調査
- 2. 事業施行機関: 鉄道庁
- 3. 事業期間: 1972.1 - 1974.12 (1年間)
- 4. 事業内容:

○ ^の 技術調査 - ^の 技術調査 ^の 技術調査 ^の 技術調査

(1) 経済性 調査

建設の 必要性 ^の 経済性 調査
新線 新送超勢 計画 調査

(2) 技術 調査

国土 路線 選定, 踏査, 建設基準 検討,
取捨 決定, 航空写真 測量, 掘削 土工 ^の 調査
構造 設計, 二費 算定

(3) 海外 技術 導入

先進 鉄道 高速化 技術 研究